

ゆめたび

2026.8.29 (土)

No.2

笛吹市立石和中学校

発行者：小山拓真

パプアニューギニアに到着！～知らない世界を知る旅の始まり～

Apinun! (アピヌン：パプアの言葉で「こんにちは」) 私は現在、JICA 海外協力隊として日本から約 5,000km 離れたパプアニューギニアに来了います。これから約 1 年 7 か月、現地の小学校で算数や理科の授業をしたり、日本の文化を紹介したりしながら生活する予定です。ところで、みなさんは「パプアニューギニア」と聞いて、どんな国を想像しますか？「ジャングルがありそう！」「暑そう！」「そもそもどこにあるの？」……もしかしたら、あまりイメージが湧かない人も多いかもしれません。

私もここに来る前は「きっと自然がいっぱいなんだろうな」くらいのイメージでした。でも、実際に来てみると、想像していた以上にいろいろな顔を持つ国だということが分かってきました。

夢に向かって一歩踏み出す勇気と、まだ見ぬ世界へ出会う旅という意味を込めました。遠く離れた場所での毎日が、だれかの「やってみたい」につながることを願っています。



多様な顔を持つパプアニューギニア

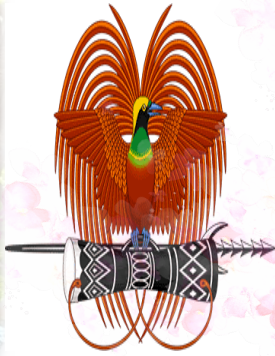
パプアニューギニア (PNG) は、オーストラリアの北に位置する国です。日本から飛行機で約 7 時間。日本とはまったく違う自然や文化が広がっています。そんなパプアニューギニアを語るうえで欠かせないのが、「文化の多様性」です。国内には 800 以上の言語があると言われ、**世界で最も多くの言語が話されている国の一つ**です。そのため、地域によって言葉や文化、生活のスタイルも大きく異なります。伝統的な文化が現在の生活の中にも残っていて、地域によっては独自の衣装や踊り、祭りなども大切にされています。日本では、ほとんどの地域で日本語を使って生活できますが、パプアニューギニアでは地域によって全く違う言葉が使われています。そこで、人々をつなぐ共通の言葉として使われているのが、英語と Tok Pisin (ピジン語) です。「こんなにたくさんの言葉がある国で、どうやってみんなで生活しているんだろう？」これから実際の生活を通して、その秘密を探っていきたいと思います。



首都のポートモレスビーは非常に発展しており、基本的に生活に必要なものは何でも揃います。スーパーマーケットには、豊富な種類の果物がたくさん売られていました。ちなみに、通貨の単位は「キナ」です。だいたい 1 キナ = 35 円くらいで推移しています。パプアの物価は、少し高めです…！

さすが南の島！首都から少し車を走らせたところに、とてもきれいなビーチがありました。パプアは、赤道付近に位置する熱帯モンスーン気候です。今は乾季のため、清々しい晴天が続いています。(ただし、紫外線も強烈です！) 現地の方もとてもフレンドリー。日本人と言ったら、「写真撮って欲しい！」とお願いされました (笑)





パプアの国鳥である「極楽鳥」を見ることができました！この極楽鳥は、世界で最も美しい鳥の一つとされ、パプアの国旗にも示されています。なんと、世界に約45種類いる極楽鳥の仲間のうち、パプアには39種類が生息していると言われています。ちなみに、手塚治虫さんの漫画である「火の鳥」のモデルは、この極楽鳥だと言われています。日本との関わりもあったとは…！

地域の魚市場へ行ってきました。パプアは島国であるため、漁業も非常に盛んであり、国の一大産業になっています。値段は特定のものがあるわけではなく、交渉によって決まるようです。何より、パプアの魚は大きい！！



現地後であるピジン語を学ぶ研修に参加しています。800以上の言語数を有するパプアにおいて、国を一つにまとめる重要な役割を果たす言語です。
「ルッキムユー＝またね！」「アピヌン＝こんにちは！」「テンキュートゥルー＝ありがとう！」etc…
今は人形を使ってひたすらトーク！やっぱり言語は使って覚えないとね！先生とも記念撮影！

多様な自然や文化を有する魅力あふれるパプアですが、日本と大きく異なる一面が治安です。どこに行っても鉄格子があり、首都は徒歩移動禁止。移動はボランティアバスなのですが、そのバスに対してもエスコート車をつけるほどの徹底ぶり。自由に外を歩ける生活は当たり前でないと痛感する日々です。



パプアニューギニアに来て、まだ間もないですが、すでにたくさんの「違い」に出会いました。こちらで生活していると、日々自分と違う考え方や習慣に出会います。例えば、日本との大きな違いが**時間感覚**。「10時集合」と言われた場合、日本だと「10時に始まるから遅くとも5分前には集合しないと！」と考えることがよくありました。ただ、パプアでは「10時頃に始まるかもね～」くらいのニュアンスで実際に始まるのは11時頃……なんてことがよくあります。パプアではこれを「PNGタイム」と言ったりします。サッカーをした時も、誰も時間を測っていませんでした。「いつ終わるの？」と聞いても、「分からない」と全員が答えます。(笑) 日本では、時間を正確に守ることや、効率よく予定を進めることが大切にされています。一方で、こちらでは、時間を守ることに大きな価値を置いていない印象を受けます。国が変われば、文化が変われば、人が変われば、ものさしも変わります。自分のものさしだけでは測れないものが、世界にはたくさんある。**違いを知ることは、自分のものさしを増やすことなのかもしれません。**まだまだパプアニューギニアのことは分かりません。だからこそ、これからも「違い」を楽しみたい。違いを知り、自分の「当たり前」を見つめ直す。そして自分のものさしを増やしていく。そんな旅を、これからも続けていきます。